

令和5年度 一般選抜 I期 入学試験問題

国 語 (50分)

注意事項

1. 「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で9ページです。印刷不鮮明などの箇所があった場合は申し出てください。
3. 答えは解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 使用する問題冊子と解答用紙の指定欄に**受験番号** (数字) を必ず記入してください。
5. 解答作業には必ず**黒の鉛筆** (HB以上) または**シャープペンシル**を使用し、ボールペンや色鉛筆などを使ってはいけません。
6. 試験終了後に、解答用紙、次に**問題冊子**を回収します。問題冊子の余白や裏面は、**下書き**に使用してもかまいません。
解答用紙は破ったり、汚したりしないでください。
7. 「やめ」の合図で、すぐに筆記用具を置き、静かに待っていてください。

一

次の文章は上田正仁の『東大物理学者が教える「考える力」の鍛え方』からの抜粋です。但し設問の都合上、一部改変してあります。読んで以下の問に答えなさい。

著作権の関係により掲載することができません

著作権の関係により掲載することができません

問一 文章中の空欄1～5には文章A～Eが入ります。最も適する順番に並び替えて、記号で答えなさい。

問二 文章中の傍線部①～⑪の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| ① 直面 | ② 試練 | ③ 道場 | ④ 克服 |
| ⑤ 意識的 | ⑥ 体系的 | ⑦ 要領 | ⑧ 脱却 |
| ⑨ 尺度 | ⑩ 創造的 | ⑪ 仕事柄 | |

二

次の文章は有島武郎の『生まれ出づる悩み』からの抜粋です。これを読んで以下の問に答えなさい。

著作権の関係により掲載することができません

著作権の関係により掲載することができません

著作権の関係により掲載することができません

著作権の関係により掲載することができません

著作権の関係により掲載することができません

問一 文章中の傍線部①～⑫のカタカナを漢字に直して楷書で書きなさい。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|-------|---|--------|---|--------|
| ① | タイセキ | ② | トドコオ | ③ | キュウリヨウ | ④ | ウスムラサキ |
| ⑤ | ウガン | ⑥ | デイトンチ | ⑦ | シラカバ | ⑧ | エイビン |
| ⑨ | ギコウ | ⑩ | ウブ | ⑪ | イオウ | ⑫ | キロ |

問二 文章中の傍線部a～cの文章中の意味として最も適するものを次のア～オの中から選び記号で答えなさい。

a よんどころなく

ア しかたなく

イ 無作法に

ウ よどみなく

エ 平常心で

オ ただちに

b まに合わせ

ア じっくり考えたこと

- イ 意志に反したこと
- ウ すぐに思いついたこと
- エ 批判めいたこと
- オ その場しのぎのこと

C あけすけに

- ア 少しずつ
- イ 包み隠さずに
- ウ 調子に乗って
- エ 一方的に
- オ かいつまんで

問三 文章中の傍線部A「そんな言葉で自分を穢すことをのがれたのだった。」とあるが、そんな言葉が自分を穢すのは何故ですか。その

理由として最も適するものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 君の傲慢な態度に対して怒りを込めて君の絵を否定することは、直接指摘しない卑怯な行動であると思われるから。
- イ 君の強情な態度を正そうと君の絵を批判することは、自分に正直になれない心の弱さを露呈することになると思われるから。
- ウ 君の素直でない態度に対して君に皮肉を言うことは、美しい心であろうとする自分の生き方を君に押しつける傲慢な行動に思われるから。
- エ 君の尊大な振る舞いに不快を感じ君の絵を認めないことは、自分の芸術に対する気持ちを偽ることに思われるから。
- オ 君の他人を小馬鹿にする態度に流されて君の絵をほめることは、君に負けを認めたよう屈辱的に思われるから。

問四 文章中の傍線部B「顔をそむけてしまった。」とあるが、この表現から読み取れる「君」の様子として最も適するものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分の絵を認めていなかった私からのほめ言葉を聞いて、今更態度を変えた私を馬鹿にしている様子。

イ 予想に反して私に自分の絵をほめられたので、どう反応すべきかわからず混乱しているのを隠している様子。

ウ 自信の無い自分の絵を表面的にほめる私の言葉に反発して、心にも無い事を平然と言う私を見下している様子。

エ 自分の絵に対する私の素直なほめ言葉を聞いて満足したが、それを私に悟られないように隠そうとする様子。

オ 自分の絵をほめられて良い気分になったが、私の言葉の真実味に疑念を抱き、納得していない様子。

問五 文章中の傍線部C「私は冬を目の前に控えた自然の前に幾度も知らず知らず棒立ちになって、君の事と自分の事とをまぜこぜに考えた。」とあるが、このときの「私」の様子として最も適するものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 将来を見通せない私と比べて、晴れ渡った空のように自分の将来を見切っている君に敬意を抱き背筋が伸びる様子。

イ 冬に向かう大自然に実るりんごの果実の姿に、君との強烈で充実した出会いを思い起こし余韻に浸っている様子。

ウ りんごの木に取り残された果実を眺めながら、先行き不透明な君と私の二人の将来に不安を感じ立ちすくんでいる様子。

エ 君と私の将来がたわわに実ったりりんごの果実のように明るくなるように、祈るような気持ちでりんごを見つめている様子。

オ 将来について悩む君と私と比較すると、冬への準備を着々と進めるりんごの木の偉大さに圧倒され呆然としている様子。

